



# 桃原町長所信表明 令和4年6月定例会

## 夢つむぐ島・久米島を目指し 6本の基本政策

- 01 農林水産業の活性化
- 02 商工・観光産業の活性化
- 03 福祉の充実
- 04 教育の充実
- 05 公共事業の安定化
- 06 次世代産業の誘致

本日ここに、町議会6月定例会が開催されるにあたり、私の今後4年間の町政運営についての基本的な考え方として、所信の一端を述べさせていただきます。

私は、これまで町職員として25年、副町長として平成26年から2期8年、合わせて、約33年の町政の中で微力ではございますが、久米島の発展に尽くしてきたと思っております。

このたび、久米島町長として皆様の前に立たせていただくことになりましたが、改めて私に課せられました責務の重大さを深く認識するとともに、町民の皆様の期待に応えるべく、今後の町政運営に全身全霊を捧げ、この職責を全うしていく所存でございます。

また、私は町長就任にあたり、登庁初日に職員に対する訓示を行いました。その中で、職員の仕事に対する心構えとして、「町民の立場に立って、町民のために何ができるか、或いは、何をすべきか」、そして、「地域行事に積極的に参加し、町民からいろんな話をきくこと」を念頭に置き、職務を遂行してもらいたいとお話をいたしました。

私としては、職員のさらなる意識改革を進め、一歩

進んだ「町民視点での町政運営」により、信頼される町政、開かれた町政を実現できるよう、努力をしてまいりますので、議員の皆様におかれましては、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、次に私の基本政策について申し上げます。本町にとって一番の課題は人口減少問題であります。これまでも人口減少問題を解決するために歴代町長が様々な事業を展開してきましたが、まだ取り組むべき課題は山積しています。

人口減少対策は、単に産業が活性化し雇用が増えればよい、医療体制を充実させれば解決する問題ではないと思います。結婚、子育て、教育、仕事、老後まで人生それぞれの局面でいくつもの「島を離れる」理由があり、それらを解決するための施策を総合的、多角的に連帯する必要があります。

これらの要因を再確認しながら、すべての子どもが元気で明るく・若者が夢と希望をもてる・お年寄りが安心して暮らせるまちづくり、すべての世代が住みやすいまちづくり「夢つむぐ島・久米島」を目指し6本の基本姿勢と

付随する政策を展開してまいります。

では、より具体的な内容として、私が掲げている公約について、お話をさせていただきます。

まず一つ目は、農林水産業の活性化であります。

農家の所得向上を目指します。そのために、さとうきびの農業機械等支援事業の活用で生産法人の農機具導入を促進し、優良種苗の栽培・普及により個別農家の安定経営を図ります。畜産業では、和牛生産地の有利性を生かし、くめじま牛のブランド化、販路拡大に努めるとともに、母牛の増頭及び品質向上に取り組みでまいります。農産物では病害虫の根絶を推進してまいります。そして、花卉・イモ類・野菜類を増産し、製造業や関係機関と連携した6次産業化など地域資源を活用した付加価値を生み出す取り組みを推進してまいります。水産業では、海洋深層水を活用し車工ビ・海ぶくろ・もずく・あおな

